

資料2-1

水道事業の 有収率向上対策について

水道の有収率とは？

水道の有収率：配水量に対する有収水量の割合

配水量：浄水場で浄水して水道管に送った水の量

有収水量：水道管をとおり蛇口から出て、ご家庭、
事業所、工場等で使われた水の量

水道料金の対象

有収率とは、作った水の量と収入になった水の量の
比率・・・高いほど効率的

甲府市の有収率は？

平成29年度末：82.49%
(近年80%前後)

全国平均、同規模団体平均
：90%前後

約10%の開き

有収率が低いとどのような問題が？

水道水は、高い費用や労力、時間がかかっている。

【原水を確保し、取り入れ、浄水して安全でおいしく飲める水にして蛇口まで届けるのにかかるもの】

甲府市は、全国よりも10%近く無駄にしている。

金額にして、10%で約4,000万円(H29決算ベース)。

※有収率が上がると収入が増えるわけではない。

(有収水量は不変。配水量が減少→経費の削減。)

有収率低下の最大要因

水道管に送った水が蛇口まで届かない状態⇒漏水

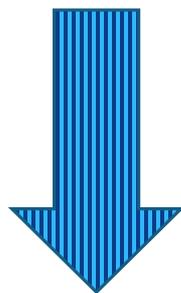
甲府市の漏水率 = 13.44% (H29年度)

※給水人口20万人以上の事業者の

漏水率平均: 4.74% (H26年度)

(※出典: 水道技術センター発行「水道ホットニュース第544号」掲載データ)

甲府市の取組は？



漏水防止対策事業

(戦略推進事業No.23)

に続く～